

年齢 60歳代

性別 ー

診療科 眼科

介入項目 薬剤減量

## 事例詳細

改善要因 過去の特定健診情報確認

経緯

- お薬手帳で関節リウマチ関係の処方を受けていることを確認。現在の処方内容から、腎機能障害や慢性腎不全の可能性が推察された。
- 患者がマイナンバーカードを持参して同意を得たため、過去の特定健診情報を確認し、尿蛋白やeGFR（推算糸球体濾過量）を確認。その結果を踏まえ、更に患者に最近の検査値の有無や、最近の体調の聞き取りを実施。**
- レボセチリジン塩酸塩は腎排泄型薬剤であり、腎機能が低下している患者は投与量を調整する必要があることから、得られた情報を元に処方医に疑義照会を行った。**当初、別の薬剤に変更することも検討したものの、処方医との議論を通し、最終的にはレボセチリジン塩酸塩錠を減量して調剤することとなった。**

マイナンバーカードを活用した過去情報閲覧を通して、  
データに基づいて医師と薬剤師が患者にとって最適な薬物治療について検討することができた。